

海洋ごみを減らしきれいな海にするために		上田香歩 山本蓮人	井関麗 指導者	梶谷弦志 山下	井村竜也 孝文先生
課題	海洋ごみの影響によって魚が誤飲し亡くなってしまう。そのようなことで漁業や食べる魚がいなくなり、経済が回らなくなってしまう。たり,海の生態系が破壊されてしまう。	仮説 プラスチックごみの分別と回収を強化すれば、海に流れるごみは大幅に減少する。そして、なにより一人ひとりの海に対する意識を改変することでポイ捨てが減り、海洋ごみも減少すると思われる。			
研究内容	海洋ごみの実態を明らかにする（現状把握）				
今後の研究について					
海洋ごみ削減に向けた研究として、まず、ごみの発生源を突き止めることが重要である。そこで実際に海岸に行き、現状を知ること、インターネットなどを活用して調べることが有力である。そして先述のとおり、一人ひとりの海洋ごみに対する意識を変えていくため、自分たちで宣伝できるものを作成していこうと考えている。					
私たちは、パフィオ宇和人差で開かれた宇和島が抱えている海洋ごみ問題を議題とした講演会に参加しました。そこで思ったことがあり、それは海洋ごみの回収ボランティアに積極的に参加できたらなとおもいました。そのボランティアには、八幡浜高校さんなどが参加しており、私たちも参加して少しでもごみを減らせたらなと思いました。					
そして、この講演会で学んだことがあり,それは私たちにもできる海洋ごみを少しでも減らすための改善方法です。					
改善方法としては、ペットボトルを買う回数を少し減らしたり、コンビニ袋を断ってmy bagを使うことです。小さな積み重ねが実はすごく大きいということを学びました。					
海洋ごみ問題って,壮大なテーマに見えるけど実は生活の延長線上にあるんですよ。					
あなたはどれなら無理なく続けられますか??					